

里島ワーケーションモニターツアー等業務委託 評価基準書

区分	評価項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
(1) 趣旨の理解	① 趣旨の理解について	本業務の目的を理解した内容となっているか。	20 (8)
(2) 業務実績	① 事業者の業務実績について	ワーケーションモニターツアーに係る業務実績や必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	30 (12)
(3) 業務執行体制とスタッフの経験及び能力	① 執行体制について	業務執行のために適切な人員配置及び役割分担が妥当か。 進捗確認など市との連絡・調整が速やかに行える体制か。 問題発生時の適切な対応が考慮されているか。	30 (12)
	② 業務担当者、担当者の適性	業務担当者及び担当者が必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	
(4) 事業計画等	① 実施方針について (具体性・的確性)	・仕様書の業務内容を理解し、具体的な内容を提案しているか。	200 (80)
		・目的を達成するための業務遂行へのアプローチは的確か。	
	② 企画書について	【全体像と仕組みの提示】 ・ワーケーションを通して、島の持続的な発展と活性化が実現でき、交流・関係人口の更なる拡大が図れる仕組みとなっているか。	
		【テーマについて】 ・里島でのワーケーションモニターツアーのテーマに沿った事業内容か。	
		【参加者について】 ・ワーケーションモニターツアーに適した参加者を選定できる方法を提案しているか。	
		【プランについて】 ・里島の魅力が発信でき、島しょ部ならではの自然や文化を体験できるプランとなっているか。	
		【ツアー実施後の効果検証について】 ・将来的なワーケーションの事業化に向けて、より効果的なプランを提案できる検証が可能か。	
		事業の目的達成のための有効な独自提案か。 (ただし、提案限度価格内で実行可能なもので、追加予算を必要としないものに限る。)	
	③ 実現可能性	実施計画等の内容が、実現性が高いものか。	
(5) 価 格	令和3年度の履行期間の委託料の総額 (消費税及び地方消費税を含む。)	120 点×(1-見積額/提案限度価格) (小数点以下切捨て)	120
			400